

## 平成23年 5 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成23年 5 月20日（金）午後 2 時40分～午後 3 時45分

2. 場 所 岸和田市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 坂田 忠義 委員長職務代理者 毛利 高二  
委員 川岸 靖代 委員 中野 俊勝 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	柿本 邦彦	学校教育部長	岸田 隆博
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼生涯学習課長	森 幸子
総務課長	阪口 洋子	学校管理課長	門林 啓之介
学校教育課長	谷 桂輔	人権教育課長	篠本 治久
スポーツ振興課長	元廣 秀晴	郷土文化室長	道姓 清
図書館長	佐藤 正	産業高等学校事務長	道古 義和
総務課参事	大西 謙次		

開会 午後 2 時40分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に毛利委員長職務代理者を指名した。  
傍聴人 0 名。

坂田委員長

はじめに、今回の東日本大震災による震災の影響で被災地の方々を始めとし、国民生活に様々な影響が表れているなか、国においてはやっと復興基本法案の審議が始まったという状況であります。特に電力事情については大変悪く、関東を中心とした 15%の節減計画が示されるなど、節電に尽力されているなか、今年の夏場を乗り切るため、本市においても多くの施設をかかえているなか、教育委員会としても十分に節電意識を高め、節電に配慮する計画をたてなければならぬと思います。

それでは、定例教育委員会を開会します。

## 報告第29号 岸和田市中学校給食実施計画策定委員会の設置について

坂田委員長

報告第29号岸和田市中学校給食実施計画策定委員会の設置について事務局の説明をお願いします。

阪口総務課長

委員会設置の目的は、中学校給食の早期実施、持続可能な給食制度の確立に向けさまざまな課題を検討し、平成24年度の予算要求に向けて実施計画を策定するものでございます。

平成23年5月1日付で、中学校給食の実施に必要な事項について検討し、中学校給食実施計画を策定することを目的とした「岸和田市中学校給食実施計画策定委員会の設置に関する要項」を定めました。策定委員会のメンバーは、教育総務部長を議長とし、教育総務課長、学校管理課長、学校教育課長、中学校校長会代表、学校給食会代表とし、事務局は教育総務部総務課が担当します。策定会議の開催につきましては、5月13日に第1回岸和田市中学校給食実施計画策定会議を開催しました。今後につきましては、大阪府の中学校給食に対する補助金の説明会が6月中頃までに開催されるということもありまして、それを受けて各担当課において検討項目に対する意見を集約し、6月の下旬に第2回策定会議を開催したいと思います。その後、数回の策定会議を必要に応じて開催し、実施計画策定委員会での実施計画案を作成し、校長会、教育委員会議に案を諮り、最終、市の政策決定機関であります政策推進戦略会議に諮り、平成24年度の予算要求に繋げていきたいと思っております。

坂田委員長

説明が終わりました、何かご意見、ご質問はございませんか。

柿本教育総務部長

スケジュール等につきましては総務課長から説明しましたとおりですが、今後議論を進めるについて、昨年度は岸和田市中学校給食検討委員会において検討された、中学校における昼食のあり方については、お弁当・スクールランチ・学校給食等いろいろな選択肢の中で、栄養バランスのとれた学校給食を子どもたちに提供するということは確認いただけたと思っております。したがって、栄養バランスのとれた、学校給食を基本的には子どもたち全員に提供していく方向で進めていきたいと思っております。ただ、提供の方法につきましては小学校で実施している方法にこだわらず、センター方式、親子方式等、本市の財政状況も踏まえながら、また中学校現場における先生方の負担も考慮しながら柔軟に考えていきたいと思っております。教育委員の皆様からも実施方法等についてご意見を頂きたいと思っております。

坂田委員長

昨年度に保護者の方にもメンバーに加わっていただいた、中学校給食検討委員会の報告に基づいた具体的な実施計画の策定ということですので、基本的には小学校と同様に生徒全員を対象とした完全給食を実施していく方向で、実施方法については、学校施設の問題、財政上の問題等をふまえて実施計画策定会議のメンバーで柔軟に検討していただければよいと思います。

毛利委員長代理

センター方式、自校実施方式等の実施方法の選択肢は考えられるが、中学校全校に給食室を造るのは難しくはないですか。

柿本教育総務部長

敷地の問題、校舎の耐震化工事の問題等さまざまな角度から調査検討を現在進めております。

坂田委員長

現在の小学校の給食室を拡充し、中学校に配送する方法はどうか。

柿本教育総務部長

親子方式と呼ばれる方法で、この方法につきましても、献立等について小学校と中学校で同じものでいいのか、別々に作るのかなどの検討課題があり、柔軟な対応が必要であると思います。

坂田委員長

本市の地形を考えますとセンター方式で実施するにしても、1つのセンターですべての中学校を賄うことが可能であるのか、複数のセンターの設置という方法もあるのではないかと思いますので、策定委員会のメンバーでしっかり検討していただきたいと思います。

柿本教育総務部長

確かにセンター方式の場合、配送に係る時間等を考えますと、センターの建設場所等についても重要な検討課題であると思います。

坂田委員長

実施方法等についていろいろな選択肢が考えられますので、策定委員会でしっかりと協議を進めていただくようお願いしておきます。

**報告第30号 書画カメラの寄附について（浜小学校）**

坂田委員長

次に、報告第30号書画カメラの寄附について（浜小学校）は書面での報告であります。何か意見等ございませんか。活用方法について教えてください。

門林学校管理課長

教材等を画像として取り込み、スクリーンや電子黒板に映して授業に活用しています。

### 報告第31号 平成22年度生徒指導状況について

坂田委員長

次に、報告第31号平成22年度生徒指導状況について事務局から説明をお願いします。

谷学校教育課長

この報告書は、各学校における生徒指導状況を集約し、本市における問題行動の動向を捉え、今後の指導に役立てるための資料でございます。小学校、中学校別に不良行為等の問題行動、いじめの認知件数、不登校の件数についてまとめたものでございます。不良行為等の問題行動につきましては、小学校において児童間の喧嘩が若干増えておりますが、多くの項目で小学校・中学校とも前年に比べ減少しており、特に中学校における喫煙、飲酒の不良行為についてはかなり減少しております。いじめの認知件数につきましては、小学校は横ばい、中学校においては若干の増加となっております。不登校につきましては小学校・中学校とも減少しております。全体的には減少傾向にあり、各学校における指導の取り組みの成果がでているものと考えております。

坂田委員長

説明が終わりました、何かご意見、ご質問はございませんか。

中野委員

各項目について減少していることについて、各学校を中心に、家庭、地域、関係機関との連携による未然防止、事後の迅速な対応など、熱心な取り組みについて感謝しております。

全国的な数値あるいは傾向との比較、また大阪府においては暴力行為が多いと聞いていますが、本市においてはどんな状況なのかお聞きします。また、いじめについてですが、全国を見ますと携帯電話、インターネットによるいじめが増えているように聞くのですが、本市におけるいじめの内容はどのような状況なのかお聞きします。それと、不登校についてはスクールカウンセラー等の活用などで減少しているのではないかなと思っていますが、本市の取り組みについてお聞きします。

谷学校教育課長

暴力行為につきましては、大阪府また全国との数値と比較しますと、残念ながら発生件数比率は高くなっております。一方、いじめ、不登校については、大阪府、全国の比率を下回っている状況です。低年齢化の傾向につきましては、中学校でおこっていたことが小学校でも発生している傾向があります。いじめの内容については、携帯電話、またインターネットの普及に伴い、それらを利用したいじめの報告もごく稀ではございますが聞いております。不登校についての対応につきましては、現在スクールカウンセラーを中学校に週1回、年間35回、1日6時間配置し、相談カウンセリングにあたっております。またこれとは別に、教育相談室においても臨床心理士の資格をもった者を配置し、各学校からの要請に応じて保護者や子どもたちの相談に応じております。加えて、主に福祉的な観点からスクールソーシャルワーカーと呼ばれる社会福祉士の資格を持った者を1名、市内の拠点校を巡回していただき、不登校等の個別の問題についてアドバイスを頂くという様な取り組みも実施しております。

#### 報告第32号 平成22年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について

坂田委員長

次に、報告第32号平成22年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について事務局から説明をお願いします。

篠本人権教育課長

平成22年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況は、卒業生1,945名のうち、全日制高等学校、定時制高等学校、高等専門学校等に進学した者は1,892名で97.3%、就職した者は22名で1.1%、専修学校等へ行った者が23名で1.2%、その他が16名で0.8%となっています。

初めに高校等への進学率につきましては、昨年が95.5%でしたので1.8%増えており、授業料無償化の制度による影響が考えられます。一方、全日制高校に進学した者のうち公立高校への進学率は、昨年度が70.9%、今年度が68.5%ですので2.4%の減少となっております。

このように、私立高校、公立高校への進学の割合の変化や公立高校の種別についても多様化されているなか、中学校における進路指導も柔軟できめ細かな対応が重要であると思います。

中野委員

今春の募集状況を見ますと、全日制公立学校のうち47校で2次募集が行なわれるという、今までにない状況でありますので、中学校における進路指導は大変難しかったのではないかと思います。また、この様な状況が続いていくとなお一層難しくなっていくように思います。

永本教育長

今年の募集状況、大阪府知事の方針等を考えると、今後公立高校の存続が危ぶまれていくように思うので、生徒達が進学に困らないよう保護者の考えも把握し、産業高等学校を含めしっかりと進学指導取り組んでいくことが重要であると考えます。

**報告第33号 フレンドシップコンサートの開催について**

**報告第34号 公民館・青少年会館等利用者報告について**

**報告第35号 図書館活動特集の「広報きしわだ」への掲載について**

坂田委員長

報告第33号フレンドシップコンサートの開催について、報告第34号公民館・青少年会館等利用者報告について、及び報告第35号図書館活動特集の「広報きしわだ」への掲載については書面にて報告とします。本件について、質疑、意見等がありましたら発言願います。

特にないようですね。報告について他にありますか。

道古産業高等学校事務長

東日本大震災で被災した石巻市立女子商業学校への支援について報告

宮城県石巻市は今回の地震・津波で大きな被害を受けた地域のひとつであり、石巻市立女子商業学校は岸和田市立産業高等学校と同様に都市立の高校であるため、県立の高校に比べて支援が後回しになってしまう可能性があるため、要請に基づき義援金に加えノートなどの文房具やパソコンなどの事務機器を直接相手校に送付しましたことを報告します。

坂田委員長

報告は以上のようなので、次に案件に入ります。

**議案第32号 岸和田市教育委員会評価委員会委員の委嘱について**

坂田委員長

議案第32号岸和田市教育委員会評価委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

阪口総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律、並びに岸和田市教育委員会評価委員会設置要綱に基づき、岸和田市教育委員会評価委員会委員を委嘱するものでございます、昨年、今本 美千代 様、中野 俊勝 様、室田 光重 様、山下 和彦 様の4名の方に委

員の委嘱を行い、評価委員会を設置いたしました。中野委員におかれましては、岸和田市の教育委員会委員に就任されましたので、今回その後任委員として馬場 由美子 様を推薦いたしたいものでございます。大宮青少年会館の館長をされていた方で、生涯学習関係でご活躍されている方でございます。なお、任期につきましては、委嘱の日から平成24年3月31日でございます。

坂田委員長

ただ今、説明が終わりました。何か ご質問、ご意見がありましたら発言願います。

ご異議が無いようですので、原案のとおり承認します。

その他で何かありませんか。何も無いようですのでこれを持ちまして本日の定例教育委員会を閉会します。

閉会 午後3時45分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員